

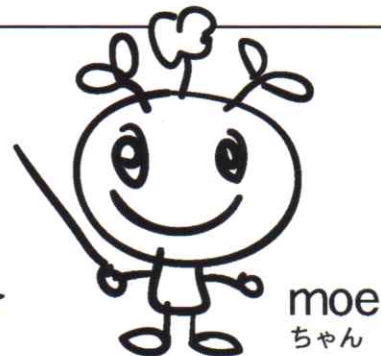
平成17年7月14日

発行：宮崎中学校区地域教育会議
議長：持田正美

宮崎中学校区地域教育会議だより

第14号

宮崎中学校区地域教育会議は
こういう活動をしています。



大人が変われば
子どもも変わる運動

あつたがまつり開催



学校、地域イベントへの参加

そのほかに各委員会の活動があります。→



——より充実した活動をめざして——

議長 持田正美



宮崎中学校区地域教育会議も本年で8年目を迎えることとなりました。これも日頃より本会議の趣旨をご理解いただき、ご協力いただいた皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。本年も「大人が変われば子どもも変わる」運動を主題にして活動を進めて参りますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて昨今、子どもたちによる今までには考えられない犯罪が取りざたされています。これも

私たち大人や現在の社会が作り上げた環境が影響しているのではないのでしょうか。子どもたちの未来のためにも、私たち大人が自分自身を、また社会を見つめ直さなければならないのではないのでしょうか。「命の大切さ」「良心」「思いやり」「人とのふれあい」、そういうものを大切に出来る心を持った子供たちが育っていく地域をめざして今後も活動して参りますので、是非みなさんのご協力をお願いいたします。

宮崎中学校区地域教育会議ってなに？

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。



— 各委員会紹介 —

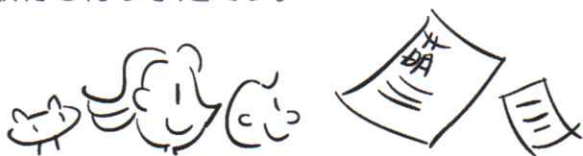
生涯学習委員会

テーマを昨年に引き続き「命の大切さ」としました。少しでも多くのかたに、講演会やディスカッションに参加していただき、命の大切さを再認識するとともに、それを子どもたちに伝えていけたらと思います。



広報委員会

「萌」を通じて地域教育会議のことをもっと皆さんに知っていただきたいと思います。生涯委員会と同様「命の大切さ」をテーマとし、各学校への取材も行う予定です。



地域教育委員会

各小学校のわくわくプラザに来ている子どもたちにアンケートを実施し、本音を聞きたいと思っています。また地域の音楽の才能のある方を集めてのコンサートを計画しています。



事務局

会議の活動が円滑に進むように、縁の下の力持ちとしてがんばって参ります。



● ● ● 梶小インタビュー ● ● ●

各学校への取材第1回は、梶が谷小学校におじゃましました。校長先生が出張中ということでしたが、教務主任の佐藤先生と新任の篠原先生にお話を伺うことができました。



学校で教えられる「命の大切さ」について

○小中学生による殺傷事件を耳にすることが多くなりました。それもあって、広報委員会では

「命の大切さ」をテーマにしているんですが、学校では、そういったことについて子どもたちに話をされることがありますか。

▲佐藤先生：端的に「命を大切にしてください」というような話をすることはありませんが、「命」というのは、人間の活動に普遍的に関わってきますから、授業を通して「命」についても子どもたちは学んでいます。たとえば、国語では、人の生や死にふれた話もありますし、戦争をあつかった物語もあります。理科や生活科では朝顔や野菜をそだて、メダカの産卵、ふ化を観察し、社会では環境問題などを通して生命について地球全体的な観点から見ることもできるでしょう。保健体育では、男女の体の違い、生命の誕生などを学びます。

○そういう意味では、「命」というのはすべてのことに関わってきますからね。



生き物にふれるということについて

○私は子どもの頃、虫や蛙をオモチャ代わりにしてさんざん殺してたんですが、あるとき、ふと嫌気がさしまして、それ以来、生き物を殺すことにすごく抵抗を感じるようになりました。まわりの生き物には迷惑だったでしょうが、それはそれで一つの授業だったような気がします。今の環境ではあまりそういうことはないでしょうね。そんなことをした覚えはありますか？

■篠原先生：アリとか・・・（-;-）。

○各教室で金魚や亀など生き物を飼育されていますが。

▲佐藤先生：もちろん、生き物にふれるということもありますが、おもに教科の学習の一環でおかれています。

■篠原先生：4年生を受け持っていますが、自分たちで飼育法などを調べたりして、責任もって育てていますよ。



こどもの「個性」？

○世の中の価値観が多様化するなか、いきすぎた個人主義が、子どもたちの事件の背景にあるのでは、という声も委員のなかにはあります。

▲佐藤先生：事件のことについては、その環境や経緯、当事者の性格などを知った上でないと、複雑な状況のなかで起こることもあるので、簡単には答えられません。

○たしかに、新聞やテレビなどの報道だけで、今の子どもたちの状況をイメージしてしまうのは少し短絡的ですね。（＊追記参照）

▲佐藤先生：ただ、個人主義というか、子どもたちの「個性」を尊重するあまり、「個性」をはき違えてしまう場合もある気がします。派手な服装や、髪型、装身具などが必ずしも「個性を尊重して」いるとは思えません。

■篠原先生：「個性を尊重する」ということはその子の持っているものをのばしてあげることだと思います。「やりたいからやる」というのを「個性」にしてしまうのは違う気がします。

○中学にはいると服装が校則で決められているので、小学生のうちに好きな格好をするという話も聞きました。

▲佐藤先生：「個性」というのは、その子の性格や「ものの見方・考え方」です。「見た目＝服装・格好」ではありません。

○なるほど。



子どもたちに望むこと

○今の子どもたちに欠けていることがあるとしたら何でしょう

▲佐藤先生：私が子どもたちによく言うのは「自分で考えて行動しなさい」ということです。誰かの指示がないと、どう行動していいのかわからない子が多い。誰かにいわれて行動するのではなく自分の頭で、何が必要なのか、どうしたらうまくいくのか考える、そういうことがもっとできるようになるといいと思います。これは子どもだけではなく若い世代全般にいえるかもしれません。（と、ちらっと篠原先生を見る）

■篠原先生：・・・（^ ^）。

○いやいや、いいオヤジになっても難しいです。自己反省・・・。

今回、準備ができていないまま行き当たりばったりの質問でした。にもかかわらず、さらに夏休み前の忙しい中にもかかわらず丁寧にお答えいただき本当にありがとうございました。（前田）

＊追記 少年犯罪についてネットなどで調べてみると、少年凶悪犯罪の補導、検挙数のピークは1960年で、テレビなどでよく耳にする「増加する一方の少年による凶悪事件」というのは必ずしも正しくはないようです。（和光大学総合文化研究所サイト内の奥平康熙氏の文章は参考になりました。）

インフォメーション

高津区民祭

7/24 (日)

各町会盆踊い



7/23 (土)	24 (日)	大塚町会
7/29 (金)	30 (土)	東有馬町会
7/30 (土)	31 (日)	馬絹町会
8/5 (金)	6 (土)	有馬町会

梶が谷小学校

にこにこまつり

10/15 (土)

西梶グリーン
カーニバル

10/16 (日)

宮前区民祭

11月後半

宮崎小学校

ふれあいまつり

10/29 (土)

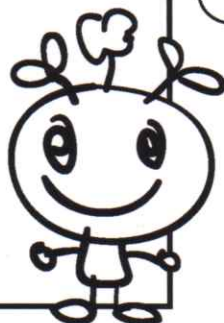
大塚町会スポーツ
フェスティバル

10/29 (土)

**宮崎中学校フェスティバル&
地域教育会議あったかまつり**

11/5 (土)

今年は共催です。
例年にましてにぎやかに、
楽しいお祭りになること
うけあい！



“今、地域教育会議でやってほしいことは？”

道行く人に、時々尋ねるんです。「地域教育会議って何ですか？」と、「さあー、知りませんねえ。ごめんなさい。」と。こうした人がほとんどであるのが現状です。そこで、一住民に代わって、地区教で実行してほしい事、役員の皆さんに是非やってほしい事を言いますので実践活動に力を入れてください。

① “宮崎中学校区を歩く会”を月に一回ぐらい数名のグループで巡回して、地区環境の実状をとらえるようにしよう。

② 小中高校生のお子さんをお持ちの親御さんと、地区教の委員と最近の教育問題についてザックバランに話し合う機会を作ってください。

③ 地区内の4校と北高校の先生を交えて「教育を語る会」を作ってください。

④ 年3回の地域教育会総会の時、現職の先生より「現在の学校教育の実状」を語ってほしい。

以上、4項目ですが、より良い地域環境を育成してゆきたい願いです。地区在住の青少年と日常生活の中で声を掛け合ってゆくことが、生命の大切さを教える良いチャンスです。地区内の盆踊り会や祭礼があって、住民と一つの良い交流の場となるけれど、平常日に、ふれあうことも大切である。こうしたことが出来るのは、地域教育会の委員の人であろうと思う。奉仕の心を互いにより深く育成するために、子供たちのために、親としてがんばりましょう。そして、地域教育会の内容をより高く、より広く、そしてより深く推進することが大切であると思います。(及川 利男)

編集後記

広報が新メンバーになって最初の「萌」です。「見やすく読みやすく」をめざしたはずが字数が増えてなかなかうまくいきませんでした。

各学校の先生方、取材に伺いますのでよろしくをお願いします。(前田)

企画・構成：広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 斎藤重喜 村田篤 小泉弘子 佐藤香代子 伊藤隆司

「萌」へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。 tatsuno04510@yahoo.co.jp